

景気動向調査

藤枝商工会議所管内 中小企業景気動向調査結果概要

業況感 全産業において回復傾向の見通し

調査時期：平成25年1月～3月
 調査対象企業数：200社
 回収数・率：168社 84%

今回の調査では、企業の景況感を表す業況判断指数（DI値）は全産業で▲30.7と多少回復傾向にある。業種別に見ると小売業が依然マイナスではあるが22ポイント以上回復した。

一方、来期の見通しは、製造業・小売業が業況・売上・経常利益共に3部門ともマイナス幅が縮小し回復傾向にある。

設備導入状況については35事業所が設備の導入をした。業種別ではサービス業が10件と多く、設備導入は車両運搬具が多かった。今後の設備導入計画も今期と同様にサービス業が10件と多く車両運搬具が多い見通しである。

経営上の問題点

- 建設業：①請負単価の低下 ②官民間需要の停滞
- 製造業：①需要の停滞 ②製品(加工)単価の低下
- 卸売業：①需要の停滞 ②仕入単価の上昇
- 小売業：①需要の停滞 ②消費者ニーズの変化への対応
- サービス業：①利用者ニーズの変化への対応 ②需要の停滞

景況天気図 (平成25年1～3月期)



	前期 24.10~12月	今期 25.1~3月	来期見通し 25.4~6月	前期 24.10~12月	今期 25.1~3月	来期見通し 25.4~6月	前期 24.10~12月	今期 25.1~3月	来期見通し 25.4~6月
建設業			製造業			卸売業			
業況	☔ ▲18.2	☔ ▲21.9	☔ ▲24.8	⚡ ▲36.7	⚡ ▲41.9	⚡ ▲40.0	⚡ ▲39.3	⚡ ▲35.5	☔ ▲24.1
売上	☔ ▲16.1	⚡ ▲35.5	☔ ▲3.3	⚡ ▲34.5	⚡ ▲43.8	⚡ ▲33.3	⚡ ▲28.6	⚡ ▲48.4	⚡ ▲33.3
経常利益	⚡ ▲37.5	⚡ ▲29.0	⚡ ▲40.0	⚡ ▲45.2	⚡ ▲53.1	⚡ ▲37.5	☔ ▲21.4	⚡ ▲29.0	☔ ▲21.4
小売業			サービス業			全産業			
業況	⚡ ▲51.4	⚡ ▲28.6	☔ ▲21.9	⚡ ▲38.2	⚡ ▲27.0	☔ ▲24.3	⚡ ▲36.9	⚡ ▲30.7	⚡ ▲27.6
売上	⚡ ▲50.0	⚡ ▲32.4	☔ ▲24.3	☔ ▲25.0	☔ ▲24.3	⚡ ▲29.7	⚡ ▲31.3	⚡ ▲36.3	☔ ▲25.0
経常利益	⚡ ▲52.8	⚡ ▲40.5	⚡ ▲44.4	⚡ ▲34.3	⚡ ▲32.4	⚡ ▲37.8	⚡ ▲38.9	⚡ ▲36.9	⚡ ▲36.8

